

# 150<sup>th</sup> Anniversary 清央小だより



令和6年度 第32号  
2025. 2. 14

教	育	目	標
「夢いっぱい 友だちいっぱい 清央小」	・自ら学び工夫する子ども	・元気でがんばる子ども	・礼儀正しく思いやりのある子ども
	(考える)	(鍛える)	(思いやる)

※ 本文は、ユニバーサルデザインのフォントを使用しています。  
※ ホームページに掲載する際は、画像を一部加工することがあります。

## 不思議な木のボールとの出会い

今週から5・6年生を対象に、私自身が鑑賞の授業を行っています。以前中学校教員であったころ、ある研究大会で行った授業がきっかけで出会った、本市ゆかりの作家である**丑久保健一**（うしくぼ けんいち）さんの作品「10<sup>∞</sup>のボール 陸のピース」をお借りして行う、**本物の作品に触れる鑑賞**です。

この作品は、108個の凹んだボールの形をした櫛でできた作品です。今回は授業のために、人数分より少し多めの35個お借りしました。授業の流れは次の通りです。

- ① 作品の紹介をした後、一度全体を見て初見の感想を聞く。
- ② その後、一人一つずつ鑑賞。この作品は作家の思いもあり、触ってよい作品なので、「触察」という目をつぶって指先や手のひらで観察しながらの鑑賞もします。
- ③ 自分の選んだ作品に、形や色、木目の感じなどから名前を付けてみる。理由も考えます。
- ④ 作品の秘密「海のピース」のことを伝え、もう一度全体を見ながら、作者がどんな思いやメッセージを込めたのか想像する。

本物の作品の持つ力は絶大です。子供たちも終始笑顔で、ボールに触りながら気付いたことを次々と口にしていました。この作品、触るとわかるのですが、すべすべしていて大きさもちょうどよく、ずっと抱えたり触ったりしていられます。持って帰りたい、もっと触っていたいと感じた児童もたくさんいました。

この授業の子供たちの感想や解釈などは、フォームのアンケートに入力してもらっています。どんな感想を持ったのかは、また後日改めてお知らせしたいと思います。今回は、難しい解釈はできなくても、本物の作品に触れて何か感じてくれればよいと思います。

※ もし作品にご興味のある方がいましたら、本物に触れる貴重な機会ですので、お迎えなどで来校の際に、校長室にお声がけいただければ校長がご案内いたします。「触察」も体験できます。3月7日(金)くらいまでお借りしています。(出張等で校長不在の場合はご案内できませんので、ご了承ください。なお、借りている期間はあくまで予定なので、早まることもあります。)



## 強風注意！帽子のゴムひもの確認を。

昨日、台風並みの強風が吹きました。学校では、業間や昼休みの外遊びを取りやめました。校庭の表面の砂が吹き飛ばされ、固い地盤が見えてしまうという被害も出ました。幸い、現在太陽光パネル工事中の足場の崩壊や倒木などがなくて済みましたが、少し恐怖を感じる強風でした。

そんな中、すでに報道等でご承知の通り、横浜市で小学3年生の男の子が飛ばされた帽子を追って車にはねられ重体になるという事故が発生しました。事故があったからというわけではありませんが、改めて**学帽のゴムひもの確認**をお願いいたします。伸びてしまったり切れかかっていたりした場合は、**直すようお願いいたします**。併せて、今回の事故のようなことが起きるので、**ゴムひもはきちんとあごの下に通してかぶる**よう、学校でも指導しますが、ご家庭でもご指導願います。学校では飛ばされても追わない、という指導もしています。今後、春先は強風の吹く日も多くなりますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

※ こうした危機管理に関することは、効果を高めるため学校と同一歩調でご家庭でのご指導もご協力をお願いいたします。

その他の学校の様子はホームページでも掲載しています。 URL: <http://www.ueis.ed.jp/school/kiyohara-c/>

(文責：校長)

